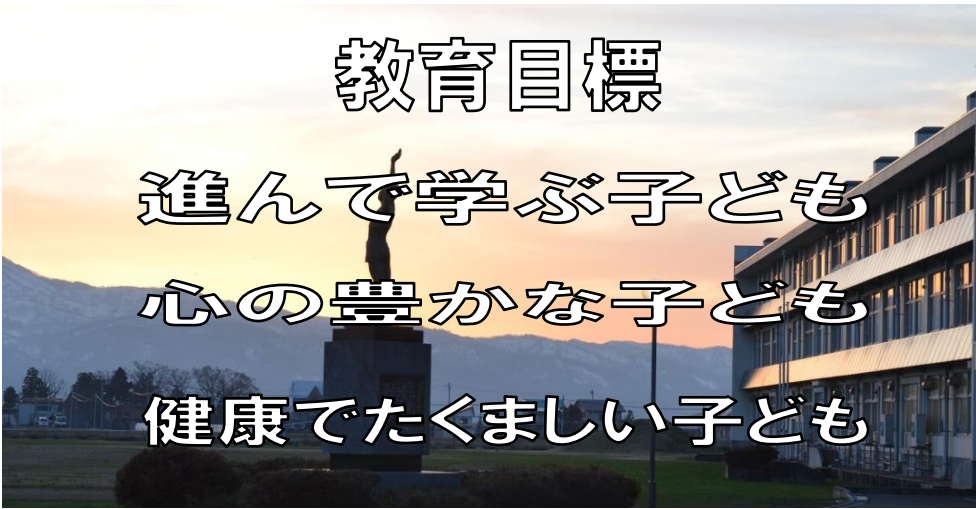


令和5年度 豊原小学校の教育プラン

【保護者・地域の願い】 ○社会性を身に付ける ・誰とでもあいさつができる ・リーダーシップ、フォロワーシップがとれる ・善悪の判断ができる ○心を大切にする ・我慢することができる ・思いやる気持ちで接する ・感謝の気持ちをもって行動する ・メディアコントロールができる
【児童の実態及び教職員の願い】 ○主体的に学び、学習内容が定着している子ども ^知 ○自分の思いをはっきり伝えられる子ども ^知 ○相手のことを考えた言動ができる子ども ^徳 ○主体性を発揮し、誰とでも一緒に活動できる子ども ^徳 ○いろいろな運動に粘り強く取り組む子ども ^体 ○約束や時間を守り、自らの生活をよりよくすることができる子ども ^体



＜新潟県学校教育の重点＞ ふるさとへの愛と誇りを胸に、夢や希望を持って粘り強く挑戦し、未来を切り拓いていけるいける、たくましいひとづくり ○児童が主役の授業づくりの推進 単元構想 対話のある学び ICT活用 ○いじめをしない、許さない、命を大切にする意識の醸成 道徳教育 特別活動 人権教育、同和教育
＜上越市学校教育実践上の重点＞ 1 子どもが主体的に学ぶ授業づくり（最重要重点） ①「知識・技能」「思考力・判断力・表現力」「学びに向かう力、人間性」の育成を目指す授業づくり ②ICTを効果的に活用した授業づくり 2 豊かな心と体づくり 3 全ての学びを保障する教育環境づくり 4 地域とともにある特色ある学校づくり

重点目標	自ら考え 仲間とともに 豊かに関わり合う子ども
------	-------------------------

学び合う子ども	認め合う子ども	励まし合う子ども
---------	---------	----------

		学力の向上	豊かな心の育成	体力の向上・生活習慣の定着
の子どもを目指す		・基礎・基本を習得し、学び進める子ども ・自分の考えをもち、課題解決ができる子ども	・思いやりの気持ちを言葉や行動で表す子ども ・認め合い、誰とでも一緒に活動できる子ども	・めあてをもって、進んで運動に親しむ子ども ・自分の健康を考えて、規則正しい生活をする子ども
重点教育活動と具		・「読む」を中心として学習の基礎・基本の定着を図る。 ・授業のUD化とICTを利活用した分かりやすい授業を実践する。 ・対話につなげるための「読む」力を育てる。 ・各種テスト、検査の分析とそれに基づいた指導を行う。 ・家庭学習の手引き、週予定と併せた家庭学習カードを継続して活用し、家庭学習の定着を図る。	・心の学習会や行事、児童会活動等の異学年活動を通して、よりよい生活や人間関係を築く。 ・道徳科や体験、月の生活目標と関連付けた教育活動を行い、社会性を育てる。 ・人権教育、同和教育の指導過程を工夫し、人権意識を高める。 ・毎月の生活アンケートや毎週の職員間の情報共有を通して、児童理解を深める。	・体育授業の充実（ICT、カードなどの活用）を図ったり、各種運動の強化月間を設定したりする。（体育部主催や委員会主催で） ・令和4年度の体力テストの結果から、弱かった全身持久力と筋持久力に関して、授業の中で重点的に強化を図る。 ・メディアのよりよい利用の仕方や早寝早起きなどの生活習慣を啓発する。（年2回＋自校1回） ・校内学校保健委員会（PTCにおける親子学習会）を継続して実施する。 ・家庭との連携を強化するとともに、学級指導、個別指導を推進する。
評価	達成目標	・意欲的に学習する 85%以上 ・分かりやすく伝える 80%以上 ・「ふるさと学習」などで進んで調べたり、表現したりする 80%以上 ・授業が分かる 85%以上 ・自分で計画を立てて家庭学習をする 80%以上 ・単元テストの到達度（各学期、教科ごとの平均点） 80%以上	・思いやりの気持ちを言葉や行動で表す 85%以上 ・思いやる言葉に優しい言動で返す 85%以上 ・友達のよいところを見付け、誰とでも一緒に活動する 85%以上 ・場に応じたあいさつをする 80%以上	・運動が好き 85%以上 ・励まし合って体を動かす 85%以上 ・早寝早起きをする 70%以上 （早寝 低 21:00・中 21:30・高 22:00 早起き 6:30） ・メディアの約束を守る 70%以上 ・シャトルラン、上体起こしに関して、自身の記録が今年度の新潟県平均を上回る。 55%以上
	評価方法	○学校評価アンケート（児童、保護者、職員） ○学校運営協議会の感想や意見 ○全国学力学習状況調査(6年)、単元テスト、Web 配信問題（年5回）、学習指導改善調査、NRT	○学校評価アンケート（児童、保護者、職員） ○学校運営協議会の感想や意見 ○みずほ班活動や心の学習会での振り返り ○月の生活目標の振り返り ○人権教育、同和教育の学習での振り返り	○学校評価アンケート（児童、保護者、職員） ○学校運営協議会の感想や意見 ○メディアコントロールチャレンジウィークの取組結果 ○体力テストの結果
会堂学協校議連		○協働して学校課題の解決に取り組むとともに、地域との協働体制づくりを進める。 ・年3回の協議会を開催し、学校課題の解決や地域との協働体制づくりについて熟議する。 ・地域に学び、地域に貢献できる総合的な学習の時間「とよはらふるさと学習」の活性化、支援（体制）整備。 ・子どもの安心、安全に係る取組を推進する。 ・学校応援団の活用を促進するとともに、活動の情報発信を進める。		
携域家小、と庭中協の・学働連地校		○小中学校連携…小中一貫教育を目指し、学力向上や望ましい学習習慣、生活習慣の確立、人権、同和教育、人間関係形成力の育成など、板倉区内の小中学校が一体となって組織的に取組を進める。 ○地域、分館…校区体育大会、豊原みんなの発表会を共同開催する。地域や中学校と連携して、あいさつ運動を促進する。 ○家庭…あいさつ、手伝い、外遊びができる子を育む。家庭学習習慣や規則正しい生活習慣づくりに向けた取組を推進する。親子・家族でメディアの利用の仕方を学び、時間の使い方を考え工夫する。（PTCにおける親子学習会の実施。2・3・6年生）		

